

事業番号	09 03 05	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水田農業所得向上緊急支援事業				担当課	部局	農政部	
						課・室	農業技術課	
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H27 ~ H30		

## 1 事業の概要

目指す姿	○平成30年からの米政策の大転換を踏まえ、将来に亘って本県水田農業を担う経営体を確保するため、米価下落リスクなどに対応した「主食用米のみに依存しない収益性の高い効率的な経営体」の育成を推進する。 成果目標:5ha以上規模の効率的な水田農業経営体の拡大 520経営体(H25)→610経営体(H29)		
現状(予算編成時)	○国は、米の生産調整の見直しにより30年以降自らの経営判断により作物選択ができるようにすることとしており、産地間競争の激化等により、継続的な米価の下落リスクが想定される。 ○このため、担い手経営体の規模拡大と低コスト生産や園芸作物導入等による収益性向上の取組を緊急的に推進し、効率的な水田農業を行う担い手経営体を早急に育成する必要がある。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 市町村、JAなどと連携し、水田農業を担う収益性の高い効率的な経営体の育成・拡大に県が主体的に取り組む必要がある。(水田農業所得向上緊急支援事業)	
	県民との協働による実施: 実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	○5ha以上規模の効率的な水田農業経営体の拡大 590経営体 (設定理由:H30に予想される米価下落リスクや産地間競争の激化に対応した低コスト生産可能な5ha以上規模の水田農業経営体を育成し、所得の確保・向上を図る。)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績			
			H27(当初)	H27(決算)	H28(当初)	
	1 水田農業複合経営モデルの提示と推進	直接	シミュレーションソフト(AGRIX NAGANO)を活用し複合経営モデルへの転換を推進		700	700
2 経営規模の拡大対策	補助金	作業受託を組み合わせ5ha以上の経営規模を目指す経営体の面積拡大部分に対して定額助成		2,711	9,000	
3 収益性向上対策	直接・補助金	稲作経営における業務用野菜導入実証・条件整備 水稲「風さやか」のコンソーシアム体制による作期拡大		6,231	6,802	2,720
4 コスト低減対策	直接	ICTを活用した効率的生産体系の構築		5,986	5,992	
5 飼料用米等の推進	直接	超低コスト生産栽培実証		225	231	
		合計	6,231	16,424	18,643	

事業コスト	区分(単位:千円)		25年度	26年度	27年度	28年度	成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越			18,643		項目	H26末(実績)	H27			H28目標					
		当初予算			6,231	18,643			目標	成果	達成状況						
		補正予算		18,643					5ha規模の効率的な水田農業経営体	570	590		594	達成	600		
		合計(A)	0	18,643	24,874	18,643											
	Aの財源	一般財源				18,643											
		県債															
		国庫支出金		18,643	24,865	0											
		その他	0	0	9	0											
	決算額(B)		0	16,424													
概算人件費	職員数(人)		1.00	1.00	1.00												
	概算人件費(C)	0	8,258	8,276	8,276												
	概算事業費(B(A)+C)	0	8,258	24,700	26,919												

目標に対する成果の状況	経営体に対する補助事業の実施や、市町村・JAなど関係機関・団体と連携した技術支援等により、着実に効率的な水田農業経営体の育成が図られている。 ※当初、H27目標550、H28目標580、H29目標610と設定していたが、H26末実績が570と目標を大きく上回ったことからH27目標を590に上方修正、H28目標を600に再設定(H26実績を踏まえ、目標値を上方修正)
-------------	--

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 水田農業の生産力の維持・強化に向けて、競争力の高い効率的な経営体の育成が急務なことから、引き続き関係機関・団体と連携し事業を推進する。
--------------------	--